



大阪市立 箕東小学校

校長名 塩田 武史

所在地 〒544-0014 大阪市生野区箕東3-8-13

電話 06-6758-3261 FAX 06-6758-0596

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671498>



主な学校行事

4月	日曜参観(学習参観・懇談会・PTA総会)、入学を祝う会、春の遠足、家庭訪問
5月	公園めぐり(1年)
6月	スポーツ記録会、交流給食会、学習参観
7月	プール開き、期末個人懇談会、林間学習(5年)
8月	
9月	プール納め、子ども祭り、
10月	秋の遠足、修学旅行(6年)、運動会
11月	オリエンテーリング、日曜参観、卒業遠足(6年)
12月	期末個人懇談会
1月	
2月	学習参観・懇談会、クラブ見学(3年)
3月	卒業を祝う会

教育目標

「豊かな心を持ち、主体的に取り組む、たくましい子どもを育てる」

めざす子ども像

「明るく」「なかよく」「ねばりづよく」

令和3年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率(%)

	国語	算数
	52	64

● 結果概要

教科に関する調査において、国語、算数ともに平均正答率は、平成31年度を上回っている。また、平均無答率についても平成31年度より低くなっており、学力向上の取り組みの成果が表れている。しかしながら、いまだ全国・大阪市の平均正答率を下回っており、さらなる取組の充実が必要である。平均正答率、平均無答率とも算数より国語の方が差は大きい。内容や領域については、国語では特に「読み」「書き」、算数では「図形」の正答率が低くなっている。問題形式では、国語、算数ともに記述式問題の正答率が特に低くなっている。

児童質問紙調査においては、基本的な生活習慣はおおむね身につけているが、学習習慣や読書習慣の定着に課題がある。また、全国・大阪市と比較して、家庭でゲームをしたりスマホをする時間が長く、学習時間が短い傾向がみられる。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	合計得点
男子	19.22	17.68	36.05	30.21	35.08	9.65	120.03	18.71	46.48
女子	16.65	15.35	39.73	29.50	31.02	9.85	116.52	11.46	47.29

● 結果の概要

男女とも、体力合計点は全国・大阪を下回った。また、前回(令和元年度)調査と比較しても7ポイント以上低下している。種目別では、男女とも「握力」「長座体前屈」以外は大幅に平均値が下がっている。特に「反復横跳び」(敏捷性)や「20mシャトルラン」(持久力)、「立ち幅跳び」(瞬発力)の平均値の低下が著しい。

また、運動習慣等調査から「運動やスポーツをすることは好きですか」に、男女ともに約84%の児童が「好き」「やや好き」と回答しており、比較的運動が好きでいる児童が多い一方、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男子25%、女子32%と全国と比べても高い割合となっている。新型コロナウイルス感染拡大により、運動の機会が大幅に減少し、そのことが児童の体力低下につながっていることがわかる。

標準服

有



重点目標

- 生きる力の育成
 - 【共に高め合う集団の育成】
 - 自他を尊重し、高め合える仲間づくり
 - ・ 人権教育の推進
 - ・ 特別活動の充実
 - 主体的にきまりを守ろうとする児童の育成
 - ・ 行動面での改善に向けた指導の充実(ポジティブ行動支援の取組の充実)
 - ・ 組織的な生活指導体制の確立
 - 【主体的に学ぶ力の育成】
 - 基礎学力の向上
 - ・ 個に応じた指導
 - ・ 授業形態の工夫
 - 主体的・対話的で深い学びの視点での授業づくり
 - ・ 協働的な学び、言語活動、体験活動
 - ・ 教科横断的な学習活動、ICT等の活用
 - 学習習慣の確立
 - ・ 放課後学習の充実
 - ・ 家庭との連携

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

平成31年度、令和2年度の2年間は算数科、昨年度より国語科を研究教科とし、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、校内研修会や授業研究会を行ってきた。今後も引き続き教員の授業力の向上に取り組んでいく。また、習熟度別少人数指導やチームティーチング、高学年での一部教科担任制の導入等、授業形態の工夫により個に応じた支援の充実もさらに進めていく。また、昨年度より学びコラボレーターや学びサポーター等の協力を得ながら、特に学力面で課題のある児童を対象として実施している放課後学習教室については、今後さらに教材を工夫することで基礎基本の定着に向け取組を進めていく。さらに、タブレットドリルによる基礎基本の定着やインターネットを使った調べ学習、調べたことを伝えるために、図や表を使いながらプレゼンテーションを行ったりするなど、ICTの効果的な活用を一層進めていく。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

本校児童の多くは、体を動かすことが好きであり、休み時間にも運動場で元気よく遊ぶ児童が多くみられていた。また、休日や放課後にも多くの児童が地域のスポーツクラブや習い事などを通じて運動に親しんでいる。前回(令和元年度)の調査においても体力合計点において、男子は大阪市平均を、女子は大阪市・全国平均を上回る結果が見られたように、日常的な運動習慣が児童の体力向上につながっていると考えられる。

しかし、新型コロナウイルスの影響により休み時間の運動場の使用を制限したり、地域の運動クラブにおいても活動が休止されたりする期間があるなど、児童の運動の機会が大幅に減少した。このことが予想以上に児童の体力低下につながっていると考える。

昨年度も、コロナ対策を講じながら、なわとび大会を実施するなど取組の工夫を行ってきたが、今年度はさらに運動の機会を保障するよう、休み時間や放課後の運動場の開放、体育の授業における運動時間の確保に取り組んでいく必要があると考える。

校長先生のメッセージ

本校は、1973年(昭和48年)に開校し、今年度で創立49年、来年度は創立50周年を迎える小学校です。また、令和4年5月1日現在の児童数は457人で生野区では最も児童数の多い学校です。花と緑あふれる学校で元気いっぱいの子どもたちが、毎日楽しく学習活動に励んでいます。「明るく」「なかよく」「ねばりづよく」を目指し、教職員が丸となって教育活動に取り組んでいます。また、2年前より「いいね!箕東!」を合言葉に、ポジティブ行動支援(子どもたちの良いところ、頑張ったところを評価し伸ばす)の取組を進めており、その成果が学校生活の様々な場面で現れています。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

- ・ 授業改善を図り、学習意欲を高め主体的に学ぶ子どもを育てるとともに、個に応じた支援を行うために、授業形態や指導方法の工夫を進める。
- ・ 一人一人の子どもが活躍できるような取り組みを通して、自己有用感を高めるとともに、互いの違いを認め合いともに高めあう集団を育成する。
- ・ 自ら考え、主体的に規律ある行動ができる子どもを育てる。
- ・ 児童が落ち着いて学習に取り組むことができるように、環境美化をはじめ学習環境の整備を進める。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%(R3:83.3%)以上に上げる。
- ・ 毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を毎年、前年度より減少させる。
- ・ 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。
- ・ 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあ

ると思いませんか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より向上させる。

- ・ 令和7年度の小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を、85%以上に上げる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38%以上(R3:33.2%)にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・ 令和7年度小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上(R3:73.3%)にする。
- ・ 令和7年度の全国体力・運動能力調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を73%以上(R3:68.4%)にする。
- ・ 令和7年度の校内アンケートにおける「積極的に手を挙げて授業に参加していますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える児童の割合を80%(R3:74.9%)以上に上げる。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■ ICT機器の活用

本校では主体的に学習に取り組む児童を育てるため、ICT機器の活用をすすめています。タブレットやデジタル教科書などを使用することで、意欲的に調べたり、自分の考えをまとめたりする姿が見られます。昨年度は積極的にプログラミング教育やオンライン授業を実施しました。



特色ある学習活動

■ 「いいね!箕東」 ポジティブ行動支援の取組

子どもたちの良いところや頑張りを、的確に評価し、さらなる頑張りにつなげています。昨年度、お手本となる行動「いいね!箕東」(行動目標)を設定し、この目標に向け児童みんなが前向きに取り組んでいます。



家庭・地域等との連携

■ 昔遊び体験

地域の老人会の皆様に講師として来ていただき、昔遊びを体験させていただきました。1年生は、けん玉・コマ回し・羽子板・だるま落とし・お手玉などのコツを教えてください、早速挑戦していました。楽しい交流の機会になっています。

特色ある学習活動

■ 国際クラブ

本校では、多文化共生教育の一環として、国際クラブの英語クラブと民族クラブがあり、それぞれ週1回活動しています。英語クラブでは、C-NETの先生とともに英語でゲームをしたり歌をうたったり楽しく活動をしています。民族クラブでは、韓国、朝鮮にルーツのある子どもたちが、自国の言葉や文化、歴史などを学んでいます。



家庭・地域等との連携

■ 地域防災訓練

1次避難所の確認や体験プログラムを実施して防災意識を高めることを目指しています。煙中テント通り抜け・水消火器放水・消防車実物説明などを行っています

